

独立行政法人国際交流基金 契約監視委員会（令和7年度第2回）  
議事要旨

1. 日時：令和8年3月5日（木） 14：00～16：00
2. 場所：独立行政法人国際交流基金 ホールさくら
3. 出席者
  - (1) 委員：渡邊一弘委員長、宮本和之委員、山本裕子委員、井澤めぐみ委員
  - (2) 国際交流基金（JF）：古屋理事、平林監査室長、正野経理部長、河井会計課長、審議案件担当者

4. 議事概要

- (1) 再委託案件及び一者応札・応募案件について（報告）  
再委託案件13件、一者応札・応募案件10件のうち審議案件2件を除く8件について、資料に基づき事務局より報告。
- (2) 連続一者応札・応募案件2件のフォローアップ（報告）  
以下の2契約が該当。

	契約名称	契約の相手方	契約方法	契約金額	担当部署
1	令和7年度第58回日本語パートナーズ派遣前研修 現地語研修に係る業務委託契約	株式会社 パークレーハウス	入札不調	10,577,600円	関西国際センター教育事業チーム
2	令和7年度日本語パートナーズ派遣事業 感謝状贈呈式に係る業務委託契約	株式会社 イー・シー	入札不調	2,200,000円	日本語パートナーズ事業部事業第2チーム

- ア. 報告のポイント：各案件とも仕様、スケジュールの見直し、採算性の改善、条件の緩和等の対策を行った。次回入札に向けて可能な範囲で仕様や公示期間の見直し、業務等十分な期間の確保を検討しつつ、引き続き周知に努め、新規参入の拡大に取り組む。
- イ. 委員からの主な発言：取組は妥当であると判断する。

(3) 個別案件 6 件の審議

以下の 6 契約について審議

	契約名称	契約の相手方	契約方法	契約金額	担当部署
ア	令和 7 年度「日本語パートナーズ派遣プログラム（大学連携インターン）」共催契約（武蔵野大学）	武蔵野大学	随意契約	2,386,198 円	日本語パートナーズ事業部 事業第 2 チーム
イ	2025 年度 国際交流基金地球市民賞 授賞式・レセプションに係る業務委託契約	株式会社西武不動産	随意契約	6,399,426 円	ブランド推進部 広報課
ウ	令和 7 年度文化人及び専門家等の招へい事業にかかる国内接遇業務委託契約	一般社団法人国際交流サービス協会	一般競争 (総合評価)	16,882,965 円	国際対話部 企画開発チーム
エ	JFF Theater 内『アフリカ特別企画』特設ページ構築に関する業務委託契約	キャップジェミニ株式会社	随意契約	3,850,000 円	映像事業部 コンテンツ事業開発チーム
オ	令和 7 年度人材派遣契約	株式会社アヴァンティスタッフ、株式会社リクルートスタッフィング、アデコ株式会社、株式会社パソナ、パーソルテンプスタッフ株式会社、株式会社スタッフサービス、ランスタッド株式会社、マンパワーグループ株式会社（計 8 者）	企画競争	254,405,112 円  (8 者との契約 金合計額)	人事部
カ	国際航空券手配及び付帯業務委託契約（IACE トラベル）	株式会社 IACE トラベル	企画競争	115,251,562 円	経理部 会計課

ア. 令和 7 年度「日本語パートナーズ派遣プログラム（大学連携インターン）」共催契約（武蔵野大学）

(ア) 契約内容：大学連携インターンは国際交流基金と各大学との共催事業で、大学で日本語教育を専攻する学生を、ASEAN 諸国を中心とするアジアの日本語教育機関に派遣するプログラム。

(イ) 抽出理由：

- ①契約の具体的内容。日本語パートナーズ派遣事業との関係、位置づけ等
- ②大学選定の理由

③各大学と随意契約とした理由

(ウ) 説明のポイント：

①日本語パートナーズ派遣プログラムには長期派遣、短期派遣、大学連携インターン派遣事業の3つがあり、本事業は日本語教員課程を持つ大学を対象として公募する事業。6月1日から翌年3月31日までに、1週間以上の派遣を行うという条件で公募している。

②公募により共催相手となる大学を選定しており、令和7年度は34大学を採用しているが、そのうち抽出条件に合致するものが契約一覧に掲載されている。

③共催事業として各大学と契約を締結しているため、随意契約となっている。

(エ) 委員からの主な発言：大学により発着地やルートも異なることがあると思うが、予定価格の設定時には第三者に説明できる内容とするよう留意してほしい。

イ. 2025年度国際交流基金地球市民賞授賞式・レセプションに係る業務委託契約

(ア) 契約内容：国際交流基金地球市民賞における2025年度授賞団体を表彰する機会である授賞式・レセプションを実施するため、会場提供及び運営業務を契約相手方に委託するもの。

(イ) 抽出理由：

①契約の具体的内容

②随意契約とされた理由、原因

(ウ) 説明のポイント：

①授賞式・レセプションの開催にあたり、会場の提供、料理飲食、必要な設備・機材の手配及び提供や、会場案内、式典の進行補助のほか、各スタッフの手配等を委託する契約。

②開催日が限られており、条件を満たす使用可能な会場が契約相手方以外に無かったため、随意契約とした。

(エ) 委員からの主な発言：入札実施の要件が揃う際には入札を実施することが望ましい。

ウ. 令和7年度文化人及び専門家等の招へい事業にかかる国内接遇業務委託契約

- (ア) 契約内容：令和7年度に実施する、文化人短期招へい事業をはじめとする専門家等の招へい事業に係る国内接遇業務を、通年で同一業者に委託する契約。
- (イ) 抽出理由：  
①契約の具体的内容  
②多数応札となった理由、原因
- (ウ) 説明のポイント：  
①招へいに際して、国内移動（車両、新幹線、航空便等）、エスコート、一般通訳・会議通訳、宿舎、食事手配等の国内接遇業務を、年度を通じて同一業者に委託するもの  
②無理のない入札スケジュール設定、公示内容の周知のほか、過去の類似契約を調査・分析し、多くの業者にヒアリングをして、入札に参加しやすいと考えられる仕様を作成したことが多数応札の要因であると考えられる。
- (エ) 委員からの主な発言：過去の例を参考にしながら、議論、検証することで、他の契約でもよい結果が得られるのではないかと史料。

#### エ. JFF Theater 内『アフリカ特別企画』特設ページ構築に関する業務委託契約

- (ア) 契約内容：日本映画等映像配信プラットフォーム「JFF Theater」内にアフリカ特設ページを追加で構築し、運用を行う業務委託契約。
- (イ) 抽出理由：  
①契約の具体的内容  
②随意契約とした理由・原因
- (ウ) 説明のポイント：  
①配信プラットフォームは、2024年8月に国際交流基金が独自に全世界を対象に構築しており、その中に、アフリカに向けた配信のページを追加する業務。既存のプラットフォーム内に追加することが最も効率的と判断し、新規制作ではなく追加する業務となった。  
②特設ページを日本映画等映像配信プラットフォーム「JFF Theater」内に追加して構築するものであり、構築後は同サイトの運用保守業務の範疇に含まれることから、現在、同サイトの構築及び運用保守業務を委託している事業者には業務委託できず、随意契約とした。
- (エ) 委員からの主な発言：調達は入札で行うのが望ましいが、随意契約となる場合には、その理由を十分説明できるようにする点を意識して取り組んでほしい。

オ. 令和7年度人材派遣契約

(ア) 契約内容：業務遂行上必要な派遣社員確保のため、単価契約を締結し、必要に応じて人員の派遣を依頼するための契約。

(イ) 抽出理由：

①契約の具体的内容

②多数応札となった理由、原因

③「人材派遣契約」8契約の応札者は、いずれも9社であるが、そのメンバーは同じか、また、同じとすれば、契約者が各契約で異なることとなった理由についても伺いたい。

(ウ) 説明のポイント：

①国際交流基金の3事業所に対する労働者派遣業務を、適切かつ迅速に実施できる業者を選定し、発注が見込まれる職種について単価契約を締結。事業所ごとに複数事業者を選定して契約するもの。

②年間を通じた調達であり、一般的な職種を対象としているため、多くの業者が関心を示し、それが反映されて多数応札者となったと思料する。

③応札者はいずれも同じ。契約相手方ごとに記載しているが、1件の企画競争による結果である。事業所ごとに、複数者を選定して契約している。

(エ) 委員からの主な発言：企画競争の仕方及び、「一つの企画競争で〇者を選定している」等、資料記載の仕方に検討の必要ありと思料。

カ. 国際航空券手配及び付帯業務委託契約（IACE トラベル）

(ア) 契約内容：基金全体で国内から海外へ出張や派遣をする際、また海外から日本に招へいをする際に必要となる国際航空券の手配や赴任時の公用旅券・査証の取得手続きに関する業務委託。

(イ) 抽出理由：

①契約の具体的内容

②多数応札となった理由、原因

(ウ) 説明のポイント：

①国際航空券の手配や赴任時の旅券・査証の手続き等の業務を委託する契約。企画競争により複数者を選定して契約している。

②複数者を選ぶ内容であることや業務としては接遇手配等と比較して、単純な内容であることなどが、応札者が増えた一因と考えられる。

(エ) 委員からの主な発言：企画競争にしては、価格の評価の比重が高くなっているように思えた。

以上